



©ちょリス

NEWS RELEASE

平成29年3月31日

「アグリシードファンド」取扱い第3号案件について

岐阜県信用農業協同組合連合会（以下、「JA岐阜信連」という。）は、(株)山本養鶏孵化場に対し、農業法人の支援・育成を目的とした資本供与「アグリシードファンド」を平成29年3月31日付けで実行しました。

「アグリシードファンド」については、JAグループ等が出資するアグリビジネス投資育成(株)（以下、「アグリ社」という。）が取扱う商品であり、農業法人の事業拡大ならびに財務基盤の強化を支援するものであります。

JA岐阜信連は、地域の中核となる担い手農業者等の支援ならびに県内農業の発展に資するべく、全力で取り組んでまいります。

1. 案件の概要

出資先	株式会社 山本養鶏孵化場
代表者	代表取締役社長：山本 満祥
所在地	岐阜県美濃加茂市古井町下古井 2544
事業内容	肉用、卵用種鶏の飼育管理、初生雛の人工孵化

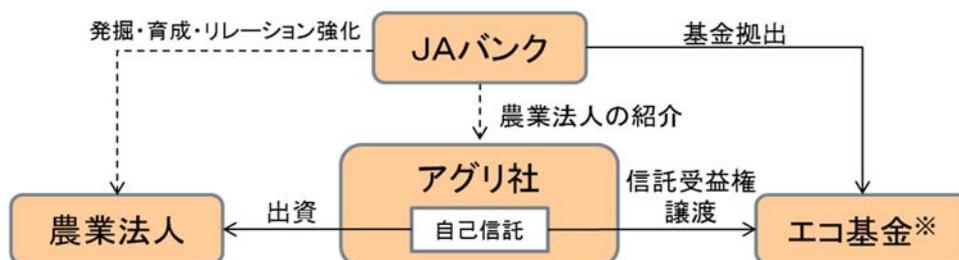
2. 出資の経緯

当社は、中部地区において他社および飼料会社との資本系列のない唯一のプロイラー雛孵化場であり、独立資本の孵化場として、「ヒヨコとともにある企業」、「養鶏業界から必要とされる企業」をモットーに、健康なヒヨコづくりを通じた社会貢献を経営理念としております。

JA岐阜信連は、当社の経営理念に共感し、当社の経営発展を支援するため、今般、「アグリシードファンド」を提案し、アグリ社より投資実行となりました。

なお、「アグリシードファンド」については、岐阜県下JA・JA岐阜信連では取扱い第3号案件となります。

3. 「アグリシードファンド」事業スキーム図



※ エコ基金・・・JAバンクアグリ・エコサポート基金のこと